

氏名	井筒将斗
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4902 号
学位授与の日付	平成26年3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Trends in Geographic Distribution of Nursing Staff in Japan from 2000 to 2010: A Multilevel Analysis (日本における2000年から2010年間の看護職員の地理的な分布の傾向：マルチレベル分析)
--------	---

論文審査委員	教授 荻野 景規 教授 浜田 淳 教授 片岡 仁美
--------	---------------------------

学位論文内容の要旨

本研究の目的は、日本における2000年から2010年間の看護職員の地理的な分布の傾向を評価することである。4タイプの看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）ごとに、全国に設定されている349の各二次医療圏における人口10万対看護職員率を算出し、経時的な傾向を調べた。また、看護職員ごとに不平等の尺度であるジニ係数を算出して、地理的な分布の分析を行った。経時的な人口対看護職員率の変化を求めるため、マルチレベルポアソン回帰モデルを用いて、1年経過する毎の看護職員率比とその95%信頼区間を算出した。二次医療圏の属性として、人口密度および都道府県庁の有無をモデルに投入し調整した。結果は、保健師・助産師・看護師のジニ係数はわずかに改善がみられるのみであった。1年経過する毎の看護職員率比は、保健師1.022(95%信頼区間:1.020-1.023)、助産師1.021(95%信頼区間:1.019-1.022)、看護師1.037(95%信頼区間:1.037-1.038)であったが、准看護師は0.993(95%信頼区間:0.993-0.994)であった。准看護師を除く看護職員の絶対数はある程度増加したと評価できるが、絶対数の増加と比較すると、地理的な分布は改善しておらず、不平等な状態であると結論づけられた。

論文審査結果の要旨

看護職員の地理的な分布の傾向を評価するために、4タイプの看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）ごとに、2000年から2010年間の間、全国に設定されている349の各二次医療圏における人口10万対看護職員率を算出し、経時的な傾向を調べ、看護職員ごとに偏在の尺度であるジニ係数を算出した。さらに、マルチレベルポアソン回帰モデルを用いて、1年経過する毎の看護職員率比とその95%信頼区間を算出した。その結果、保健師・助産師・看護師のジニ係数はわずかに減少傾向がみられた。1年経過する毎の看護職員率比は、保健師1.022(95%信頼区間:1.020-1.023)、助産師1.021(95%信頼区間:1.019-1.022)、看護師1.037(95%信頼区間:1.037-1.038)であり、准看護師は0.993(95%信頼区間:0.993-0.994)であった。すなわち、准看護師を除く看護職員の絶対数は増加したと評価できるが、絶対数の増加と比較すると、偏在状態は改善しておらず、不平等な状態であると結論づけられた。以上より、本研究は、二次医療圏の看護職員の偏在を経時的に調査した地域医療学における価値ある研究と認められる。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。